

# ☆READ 2020☆第3弾

先生方によるおススメ本紹介企画



## 「街角の数学 数理のおもむき かたちの風雅」

五輪教一・山崎憲久/著・(株)日本評論社/発行

明治期の和算書に登場する○△□だけで構成された素朴な面白い問題が多々収録されています。絵が美しく、解法が美しく、結果も意外性がある美しい、しかも易しい問題。解けたときの喜びを感じられると思います。図形(特に和算)に興味がある人は必読。



高校教頭・数学 関川雅英

## 「とりかへばや物語」

桑原博史/全訳注・(株)講談社/発行

さいとうちほのコミック「とりかへばや」がとても面白いので原作を。平安後期成立が信じられない程の異様なグロブ感。江戸時代位に懐古調で書かれた物のような…今でいうバカ売れ同人誌だろうか。萌え要素満載でラブシーンはホントにワクワクドキドキ。



図書部長・家庭 吉田純子

## 「望みをかなえる脳」

林成之/著・(株)サンマーク出版/発行

私たちはいつも結果を求められる社会で生きています。物事を理解する、身体を動かす、感じる…すべて脳で処理されています。あらゆるストレスに打ち勝ち、結果を出せる人になる為にどのようにしたら良いか、脳の使い方を学んで、幸せになりましょう。



高校1学年主任補佐・体育 中田晴之

## 「ウィルスは生きている」

中屋敷均/著・(株)講談社/発行

この本のタイトルは生物を教える立場からすると抵抗を感じる。なぜなら、ウィルスは細胞膜を持たない、代謝を行わない、単独では増殖しない、と現在の生物の定義からは大きく外れており、生物ではないと教えるからである。しかし、本書では様々な角度からウィルスを検討し、「生きている細胞」との比較がなされ「生きていること」を再検討している。今年、コロナウィルスの世界的な感染拡大で、様々なメディアでウィルスが語られている。ウィルスについての正しい知識を得て、改めて生命現象を見直しても良いのではないかな。



高校1学年アドバイザー・理科 水谷和夫

## 「成田の地名と歴史 大字別地域の事典」

成田市/発行

The world is a big and exciting place, but there are also many interesting places to discover close to home.



高校1年 E・F 組副担任・英語 マシュー・ハマスター

## 「星の王子さま」

サン＝テグジュペリ/著・(株)新潮社/発行

「大切なものは、目に見えない」というセリフはとて有名ですが、作中の何気ない会話の中に散りばめられた言葉の数々に心打たれます。全14章それぞれの場面に込められたメッセージを考えながら読んでほしいです。個人的にはキツネのシーンが好きです。世界中の言語に翻訳されているので、好みの言葉で読んでみるのもおすすめです。



高校1年G組担任・英語 山中恭平

## 「影法師」

百田尚樹/著・(株)講談社/発行

一人の武士の栄達の裏には、知らずに済んだかもしれない真実があった。信条を貫くためには、他の称賛は要らない。真の自己実現のあり方が紐解かれるとき、理屈では測れない人情を目の当たりにする。あなたの心の目は、影を見つめることができているだろうか。



高校1年H組担任・国語 原田貢佑

## 「楽園のカンヴァス」

原田マハ/著・(株)新潮社/発行

ニューヨーク近代美術館(MOMA)や絵画の巨匠アンリ・ルソーに架空の人物を交えたアート小説。専門的なこともとても分かりやすく書かれていて、絵画に詳しくなくても読みやすい。絵画好きでミステリー好きな生徒だったら読んでみるべき一冊。



高校1年G・H組副担任・美術 麻生隆悟

## 「ガンに生かされて」

飯島夏樹/著・(株)新潮社/発行

プロウインドサーファーの経歴を持つ筆者をガンが襲う。移植を断念、うつ病を乗り越えてハワイに移住。病床での「日常」生活を通じて、生と死を見つめる。死期が迫った頃の緊迫した場面は、「生かされて」見えてくることの重さを特に感じます。あなたの一冊にぜひ!



高校1学年・英語 青木涼子

## 「もし文豪たちがカップ焼きそばの作り方を書いたら」

神田佳一・菊池良/著・(株)宝島社/発行

人間の脳内は千差万別!と改めて思います。お湯を注いで湯切り。単純な工程かつ周囲で必ず誰かが食べてるほど生活に溶け込んだカップ焼きそばの作りかたを書くだけで、一冊の本になるとは驚きです。太宰治、さくらももこ。表現の面白さを知ることができる一冊です。



高校1学年・地歴 粕谷南